

平成 21 年 3 月 16 日

国土交通大臣 金子一義 殿

長期優良住宅先導的モデル事業 提案申請書

以下の内容により、長期優良住宅先導的モデル事業の提案を申請します。

応募事業提案名 : 循環する自然の環の中で暮らす
— 檜良太郎の家 —

提案事業の部門

提案事業の部門			申請する 提案部門 (当てはまるものいずれかに○をしてください)
(1) 住宅 の新築に 関する 提案	戸建 て住宅 の提案	-1 木造等循環型社会形成部門	○
		-2 維持管理流通強化部門	
		-3 まちなみ・住環境部門	
		-4 自由課題部門 (上記 -1～3 以外)	
	共同住宅の提案		
(2)既存住宅等の改修に関する提案			
(3)維持管理・流通等のシステムの整備に関する提案			
(4)技術の検証に関する提案			
(5)情報提供及び普及に関する提案			

(代表提案者) 住 所 〒790-0055
 愛媛県松山市針田町 109 番地 9
 電話番号 089-971-0255
 提案団体名 新日本建設株式会社
 代 表 者 代表取締役 井上 秀明 印

提案の基本的な考え方(住宅の新築・戸建て住宅の提案)

[A 4 版・最大2枚]

受付番号は事務局で記入します。

提案者(代表者)	新日本建設株式会社 代表取締役 井上秀明	受付番号	09-1-
応募事業提案名	循環する自然の環の中で暮らす —檜良太郎の家—		
部 門	☒ 木造等循環型社会形成 ☐ 維持管理流通強化 ☐ まちなみ・住環境 ☐ 自由課題		
テーマの名称	えひめの地産地消を基本にした一貫体制による良質な家づくり		

長期優良住宅の基本的な考え方

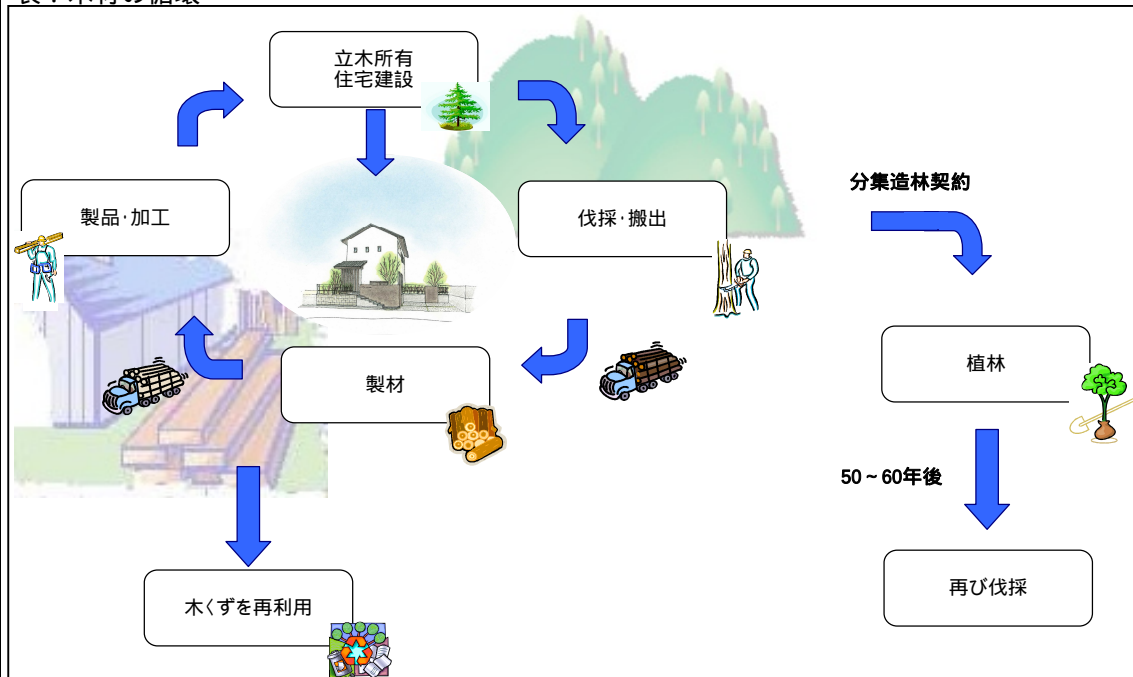
えひめの地産地消を基本にした一貫体制による良質な家づくり

- ・弊社の住宅「檜良太郎の家」は、家中まるごと自然素材でできた健康と環境にやさしい家、風土に馴染んだ県産材をふんだんに使用している。また、化学物質を含まない自然素材の壁紙、漆喰、無害塗料や無垢材を使っている。
- ・自然素材は健康住宅を実現するだけでなく、廃棄する際も地球を汚さず土に還すことができるため、次世代へと続く素材といえる。心も体も喜ぶやさしい家を建てることは、えひめの森を守り育てていくことにもつながる。
- ・良質な家づくりのための方法として、品質のよい地元えひめの木を使って(地産地消)伐採から住宅完成までを一貫体制で行っていくことを下記(当該部門に関する提案の概要)で、提案する。
- ・「檜良太郎の家」を通じて、「いいものをつくってきちんと手入れして長く大切に使う」という国の新しい住宅ビジョンを、愛媛県内に浸透させていく。



当該部門に関する提案の概要

表：木材の循環



1. 木材の循環

- ・森林を自社で保有管理し、木材の安定供給をはかるとともに、木を伐採した山は、独立行政法人森林総合研究所と分集造林契約を結び植林を行う。伐採→植林→伐採というサイクルを続けることで、森林が循環型再生可能なものとなる。
- ・製材、加工時に出る木屑は、堆肥、製紙材料等としてリサイクルさせる。

住宅の提案の概要(住宅の新築・戸建て住宅の提案)

[A4版・1枚]

受付番号は事務局で記入します。

提案者(代表者)	新日本建設株式会社 代表取締役 井上秀明	受付番号	09-1-
応募提案事業名	循環する自然の環の中で暮らす —檜良太郎の家—		

項目	(参考)関連する長期優良住宅建築等計画の認定基準案	提案の概要 (単に基準を満たしていることを示す記述はしないでください)
ア. 構造躯体の耐久性	- 劣化対策 - 劣化対策等級: 等級3 + 一定の措置	ア-1 床下空間に使用する木材は、すべて檜 ア-2 基礎内側に吸放湿性備長炭塗料を塗布 ア-3 外部板金・屋根瓦用釘にステンレス製を使用
イ. 住宅の耐震性	- 耐震性 - 免震建築物による場合、層間変形角による場合、または耐震等級(倒壊等防止): 等級2	イ-1 構造計算による耐震等級3を確保 イ-2 弊社独自の床筋交い(床倍率2.8倍を実証) イ-3 耐久性の高い檜を使った5寸の通柱 イ-4 土台4寸5分、大引3寸角 イ-5 基礎コンクリート強度30N/mm ² 以上 ベタ基礎一体工法
ウ. 内装・設備の維持管理容易性	- 維持管理・更新の容易性 - 維持管理対策等級(専用配管): 等級3	ウ-1 給水・給湯にさや管ヘッダー方式を採用 排水にさや管排水方式 ウ-2 鋼製束の採用
エ. 変化に対応できる良質な居住空間	- 更新対策等級:(戸建住宅については基準なし) - 可変性 - 一定の躯体天井高を確保 - 住戸面積 - 戸建住宅75㎡以上(一の階の床面積は40㎡以上)	
オ. 長期に利用される躯体において対応しておくべき性能	- 省エネルギー性 - 省エネルギー対策等級: 等級4相当以上の措置 - バリアフリー性(戸建住宅については基準なし) - 居住環境(まちなみ形成) - 地区計画、景観計画等がある場合はこれらの内容との調査が図られている	オ-1 Low-E ガラス(高遮熱高断熱ガラス)の採用 オ-2 アルミ樹脂サッシの採用 オ-3 社内断熱計算 CAD システム
カ. 維持保全計画等の作成	- 維持保全計画 - 構造耐力上主要な部分等、所定の項目の点検の時期、内容・少なくとも10年毎に点検を実施	カ-1 維持管理保全マニュアルの構築 カ-2 引渡時に、「住まいの管理手帳」と自然素材ワックスをお渡しする キ-1 弊社と建築主、外部機関による住宅履歴書の保管
キ. 記録の作成及び保存・流通促進等その他の取り組み		
ク. その他の先導的な取り組み		ク-1 オーダーメイド家具・建具の製作 ク-2 建設住宅性能評価の取得 ク-3 木材のJAS認定品の使用

2月4日現在、認定基準案はパブリックコメントに係る意見の調整中であり、変更となる可能性があります。認定基準が記載された施行規則等は2月下旬に公布する予定であり、認定基準決定後はその内容を(独)建築研究所HPに掲載するので、参照してください。

住宅の提案の内容説明(その5) [A4版・各1枚]

受付番号は事務局で記入します。

提案者(代表者)	新日本建設株式会社 代表取締役 井上秀明	受付番号	09-1-
応募提案事業名	循環する自然の環の中で暮らす —檜良太郎の家—		
提案項目	☐ ア. 構造躯体の耐久性 ☐ イ. 住宅の耐震性 ☐ ウ. 維持管理の容易性 ☐ エ. 変化に対応できる良質な居住空間 ☐ オ. 省エネルギー性、バリアフリー性、居住環境 ☒ カ. 維持保全計画の作成等 ☒ キ. 記録の作成及び保存等・流通促進等に関する取組み ☐ ク. その他の先導的取組み		
〔住宅の提案の具体的内容〕			
カ-1. 維持管理保全マニュアルの構築 参考資料 カ-1 弊社が加盟する社団法人全国中小建築工事業団体連合会(以下:全建連)の維持管理保全計画に基づき、維持管理保全マニュアルを構築する。 カ-2. お引渡し時に、『住まいの管理手帳』、自然素材ワックスをお渡しする 長く快適にお住まいいただくために日頃のお手入れが重要である。その手引きとなる「住まいの管理手帳」(住宅金融普及協会発行)をお渡しし、建築主とともに建物の維持管理に努めていく。また、木部のお手入れのために自然素材ワックスを差し上げる。   キ-1. 当社とお客様、外部機関による住宅履歴書の保管 参考資料 キ-1 外部機関である全建連工務店サポートセンターと提携し、設計図面や必要書類の保存を行っていく。上記(カ-1)記載のマニュアルに基づいた定期点検の結果等も随時保管していく。			
上記を確認する具体的方法	参考資料 カ-1: 長期維持保全計画書 参考資料 キ-1: 住宅履歴リスト		

住宅の提案の内容説明(その6) [A4版・各1枚]

受付番号は事務局で記入します。

提案者(代表者)	新日本建設株式会社 代表取締役 井上秀明	受付番号	09-1-
応募提案事業名	循環する自然の環の中で暮らす 一檜良太郎の家		
提案項目	☐ ア．構造躯体の耐久性 ☐ イ．住宅の耐震性 ☐ ウ．維持管理の容易性 ☐ エ．変化に対応できる良質な居住空間 ☐ オ．省エネルギー性、バリアフリー性、居住環境 ☐ カ．維持保全計画の作成等 ☐ キ．記録の作成及び保存等・流通促進等に関する取組み ☒ ク．その他の先導的取組み		
〔住宅の提案の具体的内容〕			
ク-1. 当社社員によるオーダーメイド家具・建具の製作 当社社員の手によって県産材を利用した家具、建具の製作を行っている。目に見える場所に県産材を使用することで、建築主に県産材のよさを伝えることが出来る。採寸から製作まで行っているため、引渡し後の建具調整や建具、家具の入れ替えにも容易に対応できる。			
製作中 		家具 	
玄関収納 	建具 	造作洗面 	
ク-2. 建設住宅性能評価の取得 設計住宅性能評価の取得だけでなく、建設住宅性能評価も取得することで、第3者機関が現場検査を行い、品質を保証出来ます。			
ク-3 木材の JAS 認定品の使用 品質管理として柱、梁に使用する木材は、社団法人全国木材組合連合会において JAS 格付検査に合格した認定品を使用する。			
上記を確認する具体的方法			

長期優良住宅普及への寄与内容の説明、本事業による新たな取組み、強化された取組みの説明 [A 4 版・1 枚]

受付番号は事務局で記入します。

提案者（代表者）	新日本建設株式会社 代表取締役 井上秀明	受付番号	09-1-
応募事業提案名	循環する自然の環の中で暮らす —檜良太郎の家—		
長期優良住宅普及への寄与内容の説明 * 長期優良住宅の考えを広めるために売却型モデルハウスを建設し、パンフレットの作成を行う。 * 建物ごとに構造見学会、完成見学会等の告知をテレビコマーシャル又は新聞、チラシ等で行う。 * 地元テレビ局の番組にて長期優良住宅の完成物件の紹介を放送する。 * 地元の月刊住宅雑誌に掲載する。 * 各現場に長期優良住宅の宣伝垂幕を設置し近隣に告知する。 * コープ愛媛と提携し、コープの月刊誌に掲載する。 * 長期優良住宅のモデルハウスに宿泊体験できるようにし、感想などをアンケートで伺う。 * 年 4 回発行の社外報（檜良太郎 PRESS）にて完成物件の住み心地、上記宿泊体験のアンケートなどを紹介する。 * 弊社ホームページにて長期優良住宅の考えを広めるためのページを立ち上げる。			
本事業による新たな取組み、強化された取組みの説明 新たな取組み * 床・枠等の仕上げ材・家具を愛媛県産の木材で製作 * 床下部分に吸放湿性備長炭塗料を塗布 * 弊社独自の床筋交い（床倍率 2.8 倍を実証） * 強度 30N/mm²以上のコンクリートを使ったベタ基礎一体工法 * Low - E ガラス(高遮断高断熱ガラス)とアルミ樹脂サッシの採用 強化して取り組むこと * 循環システムを維持するための森林の確保 （現在、約 5 年分の森林を確保済みであるが、今後 2 年後をめどに新たな森林を探していく） 成果として期待すること * 地産地消による地元産業の活性化 * 地産地消による輸送コスト、燃料の削減（CO₂削減につながる） * グループ会社協力のもと中間マージンの削減、輸送コストの減少により良質な木材を適正価格で提供 * 森林を育てていくことによる自然環境の改善 * 住宅の省エネルギー化による CO₂削減			